INFORMATION & OTHERS

Honda CR-E PROTO に世界が注目 その目で未来を体感してね！

5月13～14日の第2戦以来となる、今季 2 度目の全日本。ただし今大会は全く内容が違います。まずは注目のチャンピオン争い。IA1 クラスはジェイ・ウィルソン選手が昨年の IA2 に続き前回 HSR 九州大会で早々とタイトルを決定。

開幕から泥は付いても土つかずな無敗の快進撃を続けてきたジェイ選手がどんな走りを見せるのか。まずは要注目です。

手ですが、ここに来て大きな壁に直面することになりました。それが今回ホンダがエントリーさせた CR ELECTRIC PROTO とそれを駆るトレイ・カナード選手です。

そもそも電動モトクロッサーの出力等に関してのルールはまだ確定しておらず、今回は特別規則で出場が認められることになりました。つまり、公式な選手権への出場はこれが初めてになるわけです。下の写真は開発中の CR-E が初めてデモ走行を行った 2019 年の開幕戦九州大会。その後 2021 年 6 月の SUGO では、CR-E と無限が共同開発した E.REX が並んでデモ走行を行いましたが、いずれもある意味パレードラップで、レース参戦自体今回が世界初となるわけです。現在東京有明で開催中の Japan Mobility Show がモーターショーから名称変更したように、やがて内燃機関（エンジン）の時代が終わって電気とモーターの時代が来るのかどうか、モトクロスの未来の入り口がここで開くことになるわけです。

ホンダが満を持して投入してきた CR-E とカナード選手がどんなレースフォーマットは今回 IA1、IA2 共に 15 分 +1 周 ×3 ヒートのトリプルヒート。モトクロスならではの横一線、大迫力のスタートシーンが何回も見れちゃいます。

ゼッケンは白地が IA1、黒字が IA2、青が IB... なんですが、レディースも白地だし、よく見たら IA1 にも IA2 にも赤いゼッケンが混じってますよね。これは前年度トップ 10 のライダーだけが付けることを許されるプレミアムカラー。ゼッケンの数字は去年のランキング順なので、赤は強い、数字の若いライダーは速いと覚えてください。

そしてよく見ると、黒ゼッケン IA2 には 02～09 のライダーがいますよね。彼らは今年 IA クラスに昇格したルーキーたち。シーズンはすでに終盤を迎え、A 級の速さに慣れてきたとは言え先輩の迫力に押されてみんなドキドキしています。スタートの前なんか正に口から心臓が出ちゃうんじゃないかってくらい緊張しているハズ。そんな時は観客の応援が何より力になります。スタート前の選手紹介やサイティングラップの時に、落ち着いて頑張れよって励ましてあげてください。

オフヴィはココを見ろ！

声を出しての応援 OK 声援がレースを盛り上げます

今回観戦されるお客さんの中にも初めて観戦する方、今シーズン初観戦という方が少なからずいらっしゃるはず。全国から集まったトップライダーたちのスピードとジャンプの迫力、随所で繰り広げられる抜きつ抜かれつのバトルをまずは楽しんでくださいね。

最初は間近で見れるド迫力を感じてもらえればいいと思うんです。様々なモータースポーツ競技の中で、予選レースからの横一線のスタートは、モトクロスだけだと言われています。1コーナーをトップで立ち上がることをホールショットと言うんですが、それは針の穴を通すくらい狭き門だから。当然スタートでトップに立てばレースを有利に組み立てられます。それだけに1周目の混戦バトルは熾烈です。注目するライダーはアクシデントに遭わずに1周目をクリア出来るでしょうか。

次のポイントはマシンの色。赤はホンダ、青がヤマハで黄色がスズキ、カワサキは緑。気になるライダーが見つかったらプログラムをチェ～ック。全体を見ようとすると誰がどこでどれがなにやら分からなくなってしまうので、慣れるまでは誰か一人のライダーに的を絞って観戦すると、レースの展開が良く分かると思います。

スタートして一桁ゼッケンのライダーが後ろの方にいたら、何かアクシデントが起きたかって思えるし、そうじゃない、大きな数字やルーキーたちが前の方を走っていたら、そのライダーは相当頑張ってるって思ってください。

もちろん表彰式は両目お客さんに解放されます。ぜひ応援したライダーにおめでとうの掛け声を送ってあげてください。シャンパンファイトの飛沫も浴びることが出来ちゃいますよ。

レース中の途中経過は、予選、決勝を通じ、お持ちのスマートフォンで公式サービスに接続すれば全体の順位やタイムをリアルタイムで見ることができます。アドレスはこの新聞の1番下に QR コードが置いてあります。携帯スマホで写メれば公式アカウントにアクセスできるはずです。

MF4

せっかくの機会、チームパドックやメーカーのサービスブースにも出かけてみてください。ポスターや応援のフラッグがテイクアウト出来るようになっているハズだし、IA ライダーの多くがミニゼッケンステッカーを持っているので、特に子供さんは何人分ゲットできるか尋ねて回ったら楽しそう。

コースを移動しながら最適な観戦ポイントを探すも良し。早めに有料観覧席に陣取るのもあり。転倒などアクシデントが多い競技なので、ライダーは安全への配慮も怠りません。モトクロスウェアーの中に着けている装具なども出店ブースでぜひご覧になってください。

今シーズンは LINE でお届け MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスの現地情報を中心に画像やインサイドレポートをお手元のメディアに配信する速報サービス「HYPER MXING」ですが、今年も LINE 公式アカウントを使って配信しています。料金は基本タダ（笑）。現地情報からレース後の裏話などなど、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスをお届けします。みなさんぜひお気軽にご登録ください。

編集後記

どんな世界も長く関わっていると、嬉しいことや辛いこと、いろんな場面に直面しますよね。僕なんかちょっとのことですぐにヘナヘナになるけど、怪我をしてどんなに辛い思いをしても、困難を乗り越え、しっかりとリハビリに向き合ってコースに戻ってくるライダーたち。本当にすごいなと思うんです。その元気を分けてもらって、応援でお返しする。それがまた彼らのエネルギーになる。これこそレースの魅力です。全力で頑張るライダーたちを精一杯応援しましょうね。
MXING & MC Square 木田 淑

RIDING SPOT
PERFORMANCE PRODUCTS.
モータースポーツからツーリングまで
バイクライフをサポートする
(有)ライディングスポット
横浜市戸塚区上倉田1767
Tel.045-862-4878

全日本モトクロス新聞
MXING
MOTOCROSSING
制作・発行／MC Square 木田 淑
〒135-0053 東京都江東区辰巳1-9-5-1409
Tel.& Fax.03-3522-2978
E-mail:kida@mxing.com
HP:https://www.mxing.com
出力・印刷／東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel.03-5284-1173 Fax.03-5284-1174
HP:https://www.tcpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行・無料

PREVIEW-Off Road Village

朝一のタイムアタック中に大クラッシュ、それでも決勝ではライバルを圧倒し昨シーズンに続き無敗でチャンピオンを決めた#27ジェイ・ウィルソン。残り5ヒート、どんな戦いを見せるのか!? *Photo/K.Kida*

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ2023 第8戦埼玉トヨペットCUPは、10月28～29日に埼玉県川越、上尾の両市に跨るウエストポイント・オフロードヴィレッジで開催される。ジェイ・ウィルソンが早々とタイトルを決めたIA1クラスには今回ホンダの電動プロトマシンが特別参戦、世界初となる実戦デビューを果たす。プライドと最先端技術、意地と力がぶつかり合う注目の一戦。ヒーローとなるのは果たしてどのライダーだ!?

白熱のバトルで盛り上がろう!
1.トップライダー&地元選手をチェック!
2.お気に入りのライダーを一人見つける!!
3.モトクロスだけの横一線スタートに全集中!!!
4.頑張る選手を全身全力で応援しよう!!!!

タイトルを決めたジェイvs.電動MXer、勝つのはどっち!?

昨シーズンの IA2 クラスに続き、国内最高峰クラス IA1 でも早々とタイトルを決めた**ジェイ・ウィルソン**（#27／ヤマハ）。今大会を含め残り 2 戦 5 ヒート。ファンの注目は、昨年ジェイが土壇場で逃したシーズンパーフェクト V 達成なるかに集まっていたが、突如ホンダが、トップアメリカンの一人として大活躍した**トレイ・カナード**（#41）を擁し、電動モトクロッサー CR ELECTRIC PROTO を実戦デビューさせると発表。世界の注目が一躍ここオフロードヴィレッジに集まることになった。

2019 年の全日本開幕戦九州大会で初めてベールを脱いだ CR-E。2021 年には無限との共同開発として再びデモ走行が行われたが、公式戦出場はもちろん世界初。未来のモトクロッサーがどんなパフォーマンスを見せるのか注目したい。

もちろんランキング 2 番手に付ける昨年のチャンピオン**富田俊樹**（#1／ヤマハ）以下、日本のトップライダーたちもなんとかジェイの連勝をストップさせようと必死だ。ポイントランキングでジェイ、富田の後を追って 3 番手に浮上した**大倉由揮**（#6／ホンダ）、**内田篤基**（#8／カワサキ）や**大城魁之輔**（#4／ホンダ）ら若手に加え一発のスピードには定評がある**能塚智寛**（#2／カワサキや開幕戦での怪我からようやく復帰を果たした**渡辺祐介**（#4／ヤマハ）、開幕前に大怪我を追いながらようやく戦列に戻ってきた地元の**星野優位**（#9／ヤマハ）や**大塚豪太**（#7／ホンダ）や**安原志**（#13／カワサキ）、ベテランの**小島庸平**（#10／ホンダ）、怪我からの復帰戦でいきなり表彰台に上がった**小方誠**（#5／ホンダ）も上位進出とランキングのアップを狙っている。世界が固唾を飲んで見守る勝負の行方に注目して欲しい。

ビクトルを捉えられるか流れが大きく変わった IA2

昨シーズン日本の若手を完全に圧倒して無敗のままチャンピオンとなった**ジェイ・ウィルソン**が IA1 クラスにステップアップしたことで王者不在となった IA2 クラス。開幕戦は予想通りの混戦となり、**西條悠人**（#8／カワサキ）、**中島漱也**（#4／ヤマハ）、新たにチャレンジしてきたスペインの若手**ビクトル・アロンソ**（#58／ヤマハ）が初優勝を分け合った。

しかし第 2 戦関東、続く SUGO では実力で一歩勝るビクトルが持ち前のスピードを発揮して 2 連続パーフェクト優勝を達成。ビクトルがそのまま日本勢を突き放すかと思われたが、第4戦中国大会では**池田凌**（#18／カワサキ）、続く第 5 戦北海道大会では**鴨田翔**（#翔 9／カワサキ）が初優勝をマーク。第2ヒートを制した**横澤拓夢**（#5／ホンダ）は第 6 戦近畿大会で 2 戦連続優勝をマーク。前回九州では中島と池田が優勝を分け合い、ビクトルを射程に捉えた。

ビクトルが調子を取り戻してライバルを突き放すのか、それとも横澤、中島に続いて日本勢が徐々に詰め寄って行くのか。**浅井亮太**（#2／ヤマハ）や**柳瀬大河**（#3／ホンダ）や**田中淳也**（#17／ヤマハ）らもチャンスを伺っている。速さと引き換えに、時折荒削りな若さを露呈させるビクトルと、世界のスピードを吸収しようとチャレンジする日本のライダーたち。今回はそこにヨーロッパ選手権などで大活躍し大きな期待を集めた**ブライアン・スー**（#81／ホンダ）が加わる。勝者が次々入れ替わる大混戦、火花を散らす激戦に期待したい。

本田vs.川井の直接対決 勝って最後に笑うのは!?

本田七海（#4／ヤマハ）と**川井麻央**（#2／ホンダ）、タイトル経験を持つ両者による僅差の大接戦となったレディースクラス。**住友睦巳**（#53／ヤマハ）がタイトルに王手をかけた IB OPEN やジュニアクラスにも注目。タイや中国からのスポット参戦もあります。プログラムを参考に応援するライダーを見つけてくださいね。

D.I.D 全日本モトクロス選手権シリーズ 2023スケジュール

第1戦	HSR九州大会	4月 8～9日	熊本県／HSR九州
第2戦	関東大会	5月 13～14日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第3戦	SUGO大会	6月 3～4日	宮城県／スポーツランドSUGO
第4戦	中国大会	6月 24～25日	広島県／世羅グリーンパーク弘楽園
第5戦	北海道大会	7月 30日	北海道／新千歳モーターランド
第6戦	近畿大会	9月 9～10日	奈良県／名阪スポーツランド
第7戦	HSR九州大会	10月 8日	熊本県／HSR九州
第8戦	関東大会	10月 28～29日	埼玉県／オフロードヴィレッジ
第9戦	MFJ-GP	11月 11～12日	宮城県／スポーツランドSUGO

D.I.D 全日本モトクロス選手権 第8戦 関東大会 開催おめでとうございます。
HONDA YAMAHA Revs Your Heart SUZUKI

左のQRコードは、今大会のライブタイミングリザルトとライブ動画配信のダイレクトリンクです。また右のQRコードにアクセスすると、タイムスケジュール、予選結果（決勝スターティンググリッド）、リアルタイムリザルト（決勝結果）の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebook、Twitter、Instagramなど全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。